

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	K.A	学部・学科	国際教養学部国際教養学科
学年	4年	派遣国	アメリカ
派遣大学	ウィーバー州立大学		
期間	2022年8月24日～2023年4月28日		

【生活編】

1. 滞在先 レート 140 円として概算

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2人部屋 / 3人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所	◎
	キッチン	×	冷暖房	○	冷蔵庫	×
滞在費	約 10 万円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	徒歩で、約 10 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	6万円	ミールプラン 5 万、週末の外食 1 万
学用品購入費	1万円	半期ごとに教科書購入、科目登録代
交通費	0円	徒歩で通学
交際費	5千円	外食
その他	0	

合計

7万5千円

*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

治安は良好でしたが、寮から離れると街灯が少なくなる為、夜中には出歩かない方が良いと思われます。現地の方はリュックが主流なので、ハンドバックは持たずにリュックで行動するのがおすすめです。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	9ヶ月間	保険料	9万3千円

現地の国/大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称	ISSC Insurance		
加入期間	6ヶ月間	保険料	6万6千円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市/町 () オグデンはアメリカでも田舎の長閑な地域で、夏は日差しが強く冬は大雪が降っていました。寮から10分程歩くと大きなスーパーマーケットとセブンイレブンがあり、そこで食材を購入できます。また、スーパーの隣にはドラッグストアがあり、薬はもちろんのことお菓子やコスメも入手することができます。寮の近くにあるバス停からバスに乗ると回転寿司や日本食レストランがある市街地にも行けます。 冬には現地の人がバスに乗ってスキーをしに行くので、必要なものをレンタルして興味がある方は挑戦してみても良いかもしれません。

【学業編】

1. 大学情報

大学	ウィーバー州立大学	所在地	オグデン
最寄空港	ソルトレイクシティ国際空港	空港からの距離	車で 30 分程
空港⇄大学	(シャトルバス) *移動手段		
学生数	約 3 万人	留学生数	約 300 人
学部	College of Arts and Humanities (CAH) College of Education (COE) College of Engineering, Applied Science and Technology (EAST) College of Health Professions (CHP) College of Science (COS) College of Social & Behavioral Sciences (COSBS) *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	*留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (8)月～(12)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前		Criminal Justice	Introduction to WGS/QS	Criminal Justice	
午後		American College Experience			CA Studio Art

② (1)月～(4)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	Psych Human Relationships	Criminal Law and Courts	Psych Human Relationships International Politics	Criminal Law and Courts	
午後		International Politics			

3. 履修内容

科目	SS Intro to Criminal Justice		
履修期間	前期	単位数	3
授業内容／形態	<p>刑事司法入門の授業です。実際の事件例を用いて、裁判所でどのような要因(証言・物証・証拠の正当性)からどのような判決が下されたかを学ぶ事ができます。又、裁判での一般的な法知識や FBI などの位置づけについても知ることが出来ます。</p> <p><授業形態>主に、口頭のみで説明が行われる授業 (授業で用いられた法知識や事件例について、詳細は指定の教科書に記載されている)</p> <p><学生数> 約 50 人</p> <p><課題> Review: 授業の内容理解度を図るテスト 50問で選択肢を選ぶ形式のもの、記述はなし Field Experience: 実際の裁判を見学、警察官へのインタビューなど授業に関わる事柄を経験し、体験した内容と感想をレポートにまとめる。 Presentation: Field Experience で経験したことについて簡単にプレゼンする。</p>		
成績	B-		
YCU 振替予定	科目	特講(国際教養学部留学科目 A)	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	GLB American College Experience		
履修期間	前期	単位数	3
授業内容／形態	<p>留学生向けのクラスです。アメリカの学校や政府の仕組みを学び、自分の国と比べてグループディスカッションを行います。</p> <p><授業形態> 主に、口頭のみで説明が行われる授業</p> <p><学生数> 約 30 人</p> <p><試験内容> In-Class Presentation:自分の住んでいる地域についてプレゼンを行う。 Final Paper: 学期中に経験した文化的な違いに関するレポート</p>		

成績	A-	
YCU 振替予定	科目	
	単位数	2
	担当教員	

科目	Introduction to WGS/QS		
履修期間	前期	単位数	3
授業内容／形態	<p>女性、ジェンダー、およびクィア研究に関する授業です。オンラインなので期日までに自主学習をして課題をする形式となっています。</p> <p><授業形態> オンライン上で期日までに課題を行い、自主学習する。</p> <p>< 課題 ></p> <p>Gather Assignments : 複数の資料を閲覧した後に、その資料に関する質問に回答する(自由記述式)</p> <p>Apply Learning : 参考文献を自分で収集し、出されたお題に関してレポートを作成する。</p>		
成績	A-		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	CA Studio Art for NonArt Major		
履修期間	前期	単位数	3
授業内容／形態	<p>非芸術専攻の学生のための授業。鉛筆でのスケッチから絵の具を使った作品作りまで指定された作品を提出する。学期末には自由課題として自分でテーマを決めて絵の具を用いた作品を作り、その作品が最終課題となる。</p> <p><授業形態> 授業の最初に作品に関する説明が行われ、基本的には自主的に作品を制作する形式となる。</p> <p>< 課題 ></p> <p>毎週指定された作品を提出する。</p>		

成績	A-	
YCU 振替予定	科目	
	単位数	
	担当教員	

科目	Criminal Law and Courts		
履修期間	後期	単位数	3
授業内容／形態	<p>アメリカの刑法と刑事裁判制度について解説。犯罪の要素、抗弁、歴史的基礎、限界、刑法の目的と機能。刑事裁判の歴史、理論、実践。</p> <p><授業形態> 実際に裁判所に2回訪問し、裁判を傍聴する。</p> <p><課題> 裁判の感想をレポートにまとめる。 アメリカでの犯罪事例を一つ選んでプレゼンテーション。</p>		
成績	C+		
YCU 振替予定	科目	特講(国際教養学部留学科目 B)	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	International Politics		
履修期間	後期	単位数	3
授業内容／形態	<p>国際政治について学ぶ。最新のニュースや環境問題について資料を読み自分の考えをレポートとしてまとめて提出する。</p> <p>教科書からの明示的な引用と専門用語での説明を含んだレポート。 毎週ニューヨークタイムズのニュースを読んでリフレクションを書く。 SDGs 目標を一つ選んでプレゼンテーション。</p>		
成績	A		
YCU 振替予定	科目	グローバル政治論	
	単位数	2	
	担当教員	上村 雄彦	

科目	Psych Human Relationship		
履修期間	後期	単位数	3
授業内容／形態	<p>心理学系の応用授業。身近な心理学としてカップルの傾向や友人との付き合い方など対人関係における心理学について深く学習していく。</p> <p><授業形態> パワーポイントが毎週配布され、授業は教科書ベースで行われる。</p> <p><課題> 合計5回のテスト、トピックごとの授業内容をまとめレポートで提出</p>		
成績	C		
YCU 振替予定	科目	社会心理学	
	単位数	2	
	担当教員	松井 豊	

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

イニシャル	K	学部・学科	国際教養学部国際教養学科
学 年	4 年	派遣国	アメリカ
派遣大学	ウィーバー州立大学		
期 間	2022 年 8 月 24 日～2023 年 4 月 28 日		
プログラム	交換留学プログラム		

< 留学先大学での履修内容 >

科目	SS Intro to Criminal Justice
講義内容	刑事司法入門の授業です。実際の事件例を用いて、裁判所でどのような要因(証言・物証・証拠の正当性)からどのような判決が下されたかを学ぶことができます。又、裁判での一般的な法知識や FBI などの位置づけについても知ることが出来ます。
科目	GLB American College Experience
講義内容	留学生向けのクラスです。アメリカの学校や政府の仕組みを学び、自分の国と比べてグループディスカッションを行います。
科目	Introduction to WGS/QS
講義内容	女性、ジェンダー、およびクィア研究に関する授業です。オンラインなので期日までに自主学習をして課題をする形式となっています。
科目	CA Studio Art for NonArt Major
講義内容	非芸術専攻の学生のための授業。鉛筆でのスケッチから絵の具を使った作品作りまで指定された作品を提出する。学期末には自由課題として自分でテーマを決めて絵の具を用いた作品を作り、その作品が最終課題となる。
科目	Criminal Law and Courts
講義内容	アメリカの刑法と刑事裁判制度について解説。犯罪の要素、抗弁、歴史的基礎、限界、刑法の目的と機能。刑事裁判の歴史、理論、実践。
科目	International Politics
講義内容	国際政治について学ぶ。最新のニュースや環境問題について資料を読み自分の考えをレポートとしてまとめて提出する。
科目	I Psych Human Relationship
講義内容	心理学系の応用授業。身近な心理学としてカップルの傾向や友人との付き合い方など対人関係における心理学について深く学習していく。

<総括>

(1) 全体的な感想 *留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800字以上)

最初に、講義に関しては想像していたよりもアクティブな形の講義が多く大変でした。プレゼンテーションが複数あったり、授業外の時間に裁判所に訪問したりと講義をただ受けるだけでなく、アクティブラーニングが主流でした。課題については、オンラインクラスを除けば想定していたより量が少なく、最初は余裕を持って取り組むことが出来ていました。しかし、確認テストがある講義が多く教科書を読み込む時間が相当量必要となっており、課題よりも授業の事前準備に時間を割く事で忙しくなっていました。英語の教科書を読む事が事前準備として求められるので休日も予習をする必要があり、思っていたよりは他の事に時間を取れませんでした。しかし、難易度の高い講義でも留学生の私に配慮してわかりやすく解説していただけたのでとても助かりました。例えば、刑事司法入門の授業は専門的ですが、実際に働いている検事の方が解説してくれたのでより実践的な内容で興味深かったです。実際の裁判例を元に検事の方が話してくださるので授業の内容自体は理解しやすいと感じました。

次に、食文化について触れていきたいと思います。食文化が日本とかなり異なる為、最初は慣れるのに大変でした。アメリカに来てから1ヶ月ほど経った頃に現地での生活スタイルや食事にも大分慣れてきたので、気持ちに余裕が出てきました。慣れない場所だと自分に合った食事を見つける事が大切であり、居心地の良さを高める事ができます。大学内にはいくつかの選択肢があるので、最初は自分に合った食事を見つけるのに時間がかかりました。留学生に特におすすめなのは Wildcat room です。このお店はビュッフェスタイルなので自分で好きなものを取って食べることが出来ます。また、他のお店と比べても席が広いのでリラックスして食べることができ、休憩には最適の場所です。

最後に、留学生同士の交流は毎月何らかのイベントが開催されていますし、キャンプもあったのでかなり充実していると感じました。参加も必須では無いので、自分のスケジュールが合う時のみ参加する事ができるのが良いシステムだと感じました。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400字以上)

今回の留学を通して得た事は、初めての場所ではまず自分の環境を整える事が何よりも大切だということです。その為には、留学前に現地の周辺環境や大学の施設などをしっかりとリサーチする事が必要となってきます。周辺のスーパーやドラッグストアには、留学が始まってからすぐは行かなかったのですが、どこにあるか把握しておくだけでも時間があるときに立ち寄れるので事前情報はなるべく多く用意しておいた方が便利だと思います。このような事前リサーチに周辺の生活環境や様々なものを含む意識は、これからの大学院選択や就活での企業の絞り込みにも役立てていきたいと考えています。また、今回の留学で不十分だった点として、非常薬の種類がもっと豊富にあった方が安心だと感じました。通常の頭痛薬や風邪薬は準備していたのですが、保冷剤やスポーツドリンクなどは常備していなかったため体調が優れなかった時に困ってしまいました。特に冬には買い物に行くのも大変な時があるので今後は絶対に欠かさないように注意していきたいと思います。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400字以上)

最初に空港から寮またはアパートメントに移動することになるとは思いますが、ここでも使用する可能性があるためチップは事前に用意しておいた方が良いかと思われます。アメリカではチップ文化が当然となっているのでサービスを受ける為にも用意した方が賢明だと思います。また、寮でもアパートメントでも最初は生活用品が必要になるとは思いますので、アメリカの Amazon プライムへの加入を強くお勧めします。学生割引の値段になりますし、最初は無料体験期間もありますのでとりあえず加入してみて後で停止しても良いかと思えます。特に冬は雪で買い物に行くのも大変なので、私は一年中 Amazon プライムで教科書や生活必需品などを購入していました。寮の場合はオフィスにいる事務員さんが荷物を受け取ってくれ、ポストに荷物通知表を入れてくれるのでそれと学生カードを持って、自分お荷物を受け取る事が出来ます。寮にいる場合はぜひ利用してみてください。